

《日商簿記2級》 —工業簿記—

24. 標準原価計算②

～パーシャル・プランとシングル・プラン～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



標準原価計算の記入方法

～パーシャル・プランとシングル・プランとは?～

<標準原価計算における勘定記入方法について>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



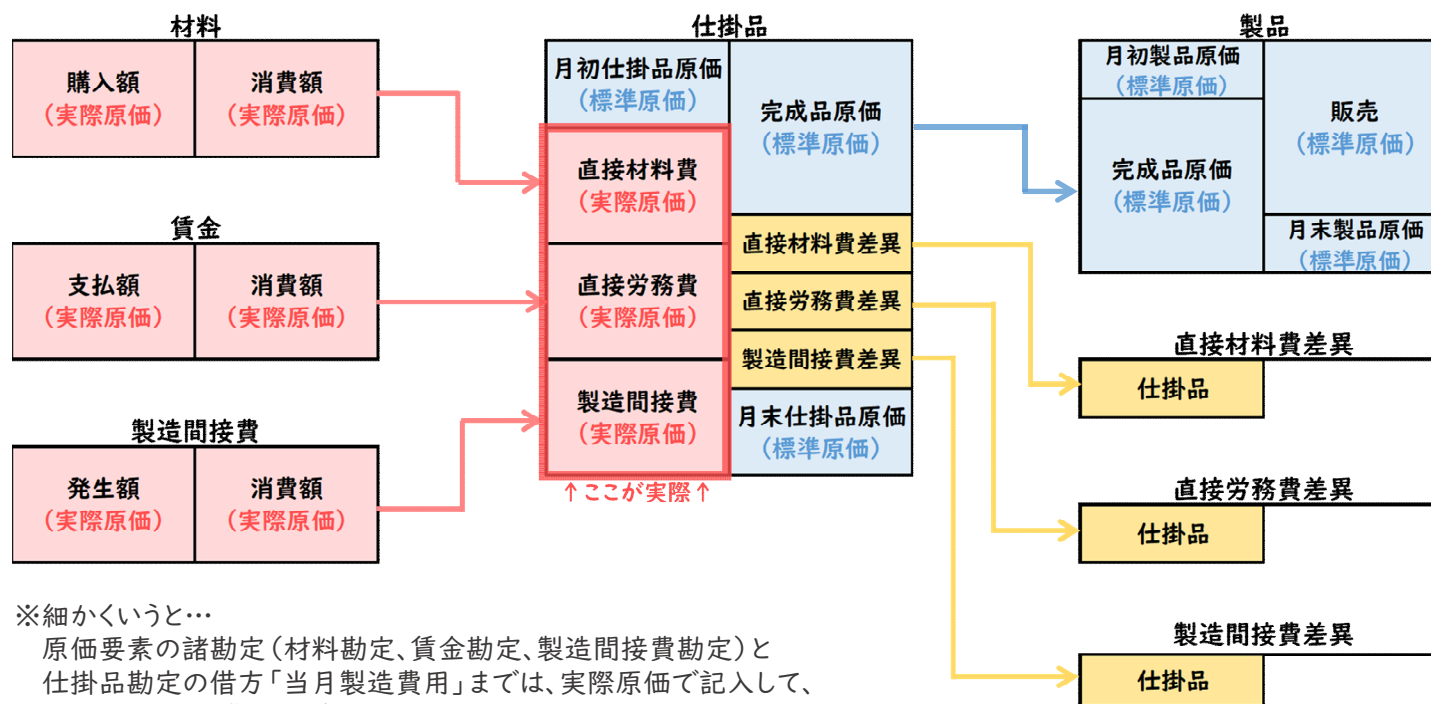
標準原価計算の記入方法

<標準原価計算の勘定記入方法>

・標準原価計算の勘定記入の方法には、()と()の2つの方法がある。

パシヤル・プラン…仕掛品勘定の当月製造費用の金額に()を用いる方法である。
この方法の場合、標準原価差異は仕掛品勘定で把握される。

○用語○
 パシヤル…「一部だけ」、「部分的な」など
 シングル…「たった1つの」、「単一の」など
 プラン…方法、方式のこと



※細かくいうと…
 原価要素の諸勘定(材料勘定、賃金勘定、製造間接費勘定)と仕掛品勘定の借方「当月製造費用」までは、実際原価で記入して、それ以降は、標準原価で記入する方法となります!

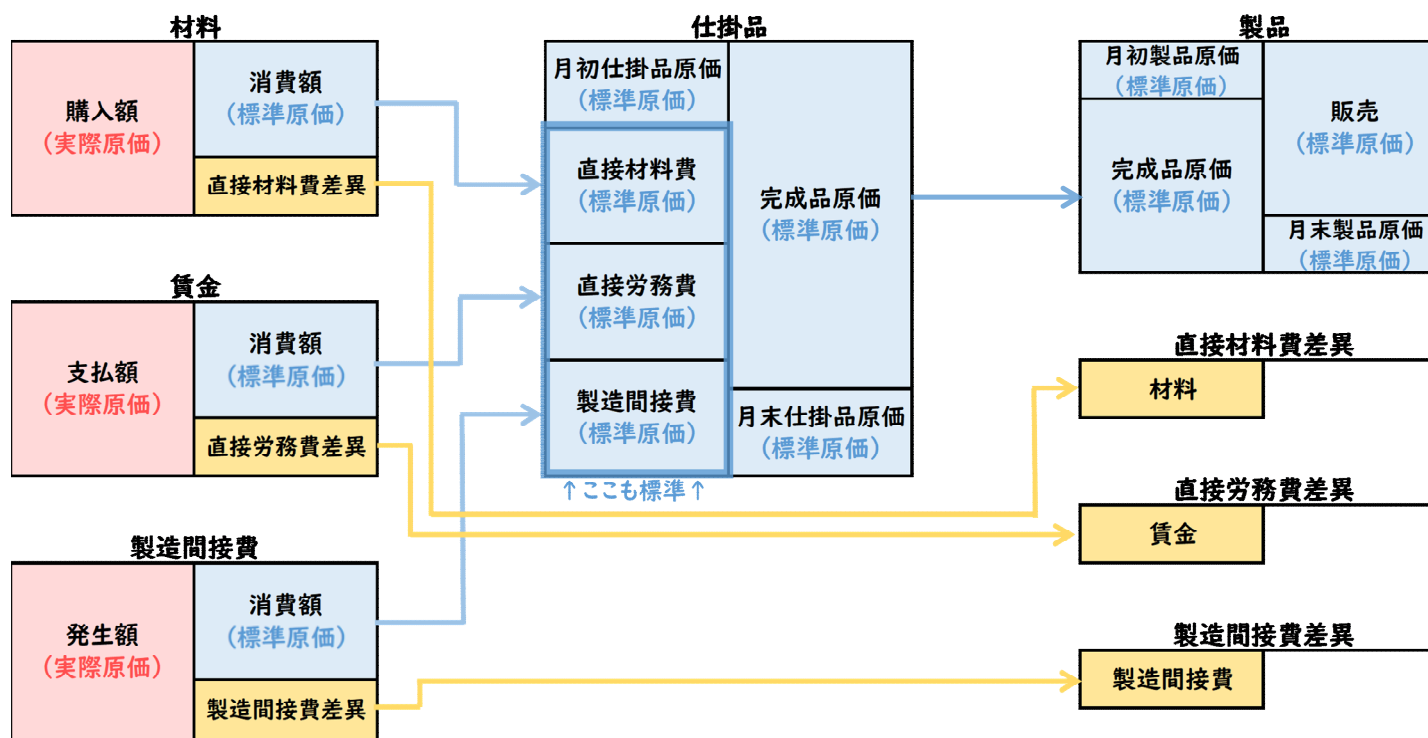
標準原価計算の記入方法

<標準原価計算の勘定記入方法>

シングル・プラン…仕掛品勘定の当月製造費用の金額に（ ）を用いる方法である。
 この方法の場合、標準原価差異は、材料・労務費・製造間接費の各勘定で把握される。

○用語○
 パーシャル…「一部だけ」、「部分的な」など
 シングル…「たった1つの」、「単一の」など
 プラン…方法、方式のこと

※細かくいうと…
 「原価要素の諸勘定の借方」までは、実際原価で記入して、それ以降は標準原価で記入する方法となります。



・ちなみに、パーシャル・プランとシングル・プランは、各企業の特徴や目的に合わせて採用される。
 また、両者で原価差異を把握するタイミングは異なるが、金額そのものは変わらない。

標準原価計算の記入方法

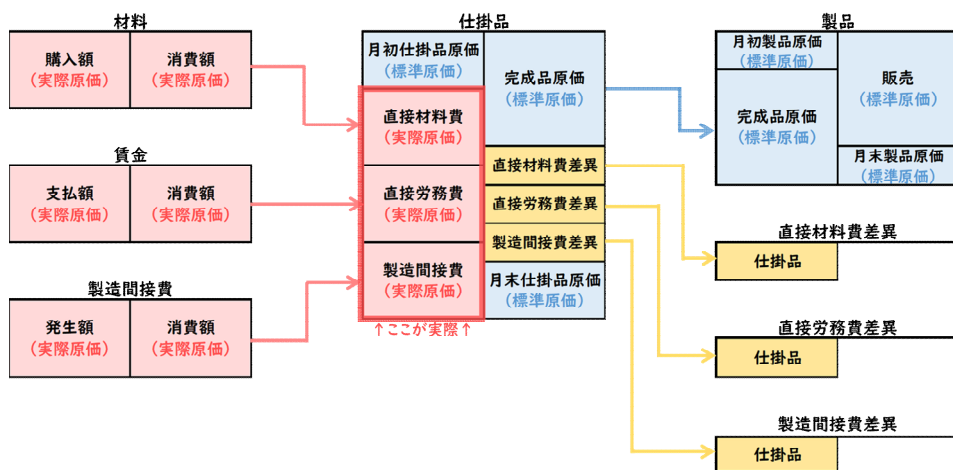
<原価差異の把握方法について>

・原価差異を把握するタイミングには、()と()の2つの方法がある。

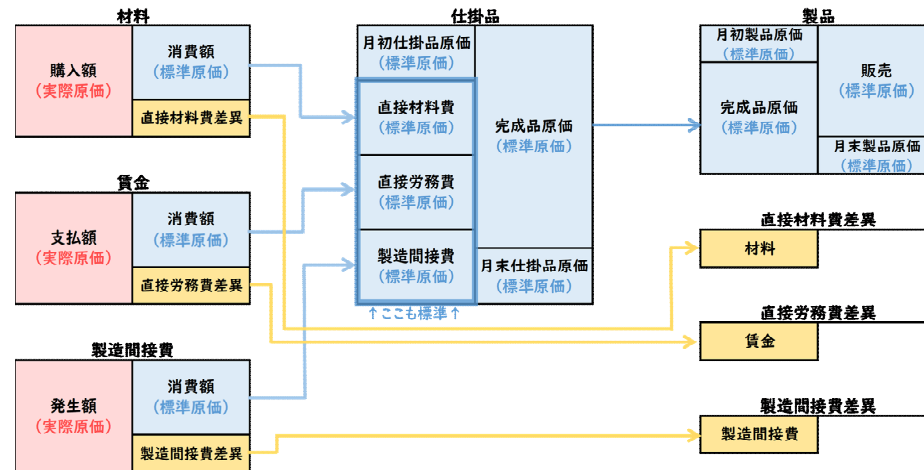
アウトプット法…実際の生産量(完成品と月末仕掛品)が確定したタイミングで、一括して原価差異を把握する方法である。そのため、標準原価計算の勘定記入方法()と深く関係している。この方法は、事務処理(計算量)は少なく済むが、実際原価が確定するまで差異の計算ができないため、差異の把握が遅れる。

インプット法…材料等の原価要素を投入するタイミングで原価差異を把握する方法である。そのため、標準原価計算の勘定記入方法()と深く関係している。この方法は、材料等を消費する時点で差異を把握をできるので、差異の把握は早いですが、事務処理(計算量)は多くなる。

<パーシャル・プランの勘定連絡図>



<シングル・プランの勘定連絡図>



標準原価計算の記入方法

<標準原価差異の処理について>

- ・月ごとに把握される標準原価差異（直接材料費差異・直接労務費差異・製造間接費差異）は、「売上原価」勘定に賦課する処理を行う。損益計算書においては、借方差異（不利差異）なら（ ）し、貸方差異（有利差異）なら（ ）する処理を行う。



I.売上高		XXX
II.売上原価		
1.月初製品棚卸高	XXX	
2.当月製品製造原価	XXX	
合計	XXX	
3.月末製品棚卸高	XXX	
差引	XXX	
4.原価差異	XXX	XXX
売上総利益		XXX

I.売上高		XXX
II.売上原価		
1.月初製品棚卸高	XXX	
2.当月製品製造原価	XXX	
合計	XXX	
3.月末製品棚卸高	XXX	
差引	XXX	
4.原価差異		
直接材料費差異	XXX	
直接労務費差異	XXX	
製造間接費差異	XXX	XXX
売上総利益		XXX

標準原価計算の記入方法

～問題解説～

<パーシャル・プランとシングル・プランを問題で確認しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



標準原価計算の記入方法

《問題1》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、仕掛品勘定と各原価差異の勘定を完成させなさい。なお、勘定記入の方法はパーシャル・プランによること。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100コ (80%)	80コ
当月投入	500コ	420コ
合計	600コ	500コ
月末仕掛品	200コ (50%)	100コ
完成品	400コ	400コ

- ・()内の数値は加工進捗度を示す。
- ・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード			
標準直接材料費	標準単価 @100円	標準消費量 × 2kg	= 200円
標準直接労務費	標準賃率 @300円	標準直接作業時間 × 1h	= 300円
標準製造間接費	標準配賦率 @500円	標準直接作業時間 × 1h	= 500円
製品A1コあたりの標準原価			<u>1,000円</u>

<パーシャル・プラン>

仕掛品勘定の当月製造費用の金額に「**実際原価**」を用いる方法である。この方法の場合、標準原価差異は仕掛品勘定で把握される。

3. 実際原価に関するデータ

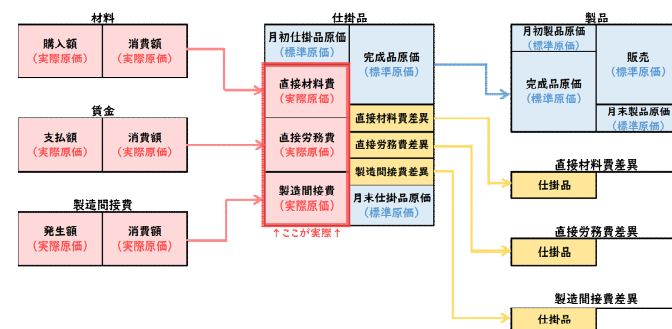
- ・直接材料費実際発生額：132,000円
- ・直接労務費実際発生額：107,500円
- ・製造間接費実際発生額：225,000円

仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品 100コ	完成品 400コ
20,000	80,000
当月投入 500コ	
100,000	月末仕掛品 200コ
	40,000

仕掛品(加工費)

月初仕掛品 80コ	完成品 400コ
24,000	120,000
40,000	200,000
当月投入 420コ	
126,000	月末仕掛品 100コ
210,000	30,000
	50,000



● 差異に関する仕訳 ●

仕掛品		直接材料費差異	
前月繰越	製品	()	()
直接材料費	()	直接労務費差異	
直接労務費	()		
製造間接費	次月繰越	()	()
()		製造間接費差異	
		()	()

標準原価計算の記入方法

《問題2》

製品Aを製造する当社は、標準原価計算を採用している。次の資料に基づいて、仕掛品勘定と各原価差異の勘定を完成させなさい。なお、勘定記入の方法はシングル・プランによること。

1. 生産データ

<換算量>

月初仕掛品	100コ (80%)	80コ
当月投入	500コ	420コ
合計	600コ	500コ
月末仕掛品	200コ (50%)	100コ
完成品	400コ	400コ

- ・()内の数値は加工進捗度を示す。
- ・材料は、すべて工程の始点で投入している。

2. 製品A1コあたりの標準原価カード

標準原価カード			
標準直接材料費	標準単価	標準消費量	
	@100円	× 2kg	= 200円
標準直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	
	@300円	× 1h	= 300円
標準製造間接費	標準配賦率	標準直接作業時間	
	@500円	× 1h	= 500円
製品A1コあたりの標準原価			<u>1,000円</u>

<シングル・プラン>

仕掛品勘定の当月製造費用の金額に「標準原価」を用いる方法である。この方法の場合、標準原価差異は材料・労務費・製造間接費の各勘定で把握される。

3. 実際原価に関するデータ

- ・直接材料費実際発生額：132,000円
- ・直接労務費実際発生額：107,500円
- ・製造間接費実際発生額：225,000円

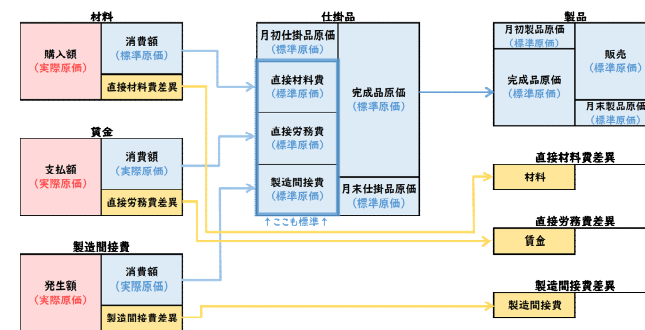
仕掛品(直接材料費)

月初仕掛品	100コ	完成品	400コ
	20,000		80,000
当月投入	500コ		
	100,000	月末仕掛品	200コ
			40,000

仕掛品(加工費)

月初仕掛品	80コ	完成品	400コ
	24,000		120,000
	40,000		200,000
当月投入	420コ		
	126,000	月末仕掛品	100コ
	210,000		30,000
			50,000

●差異に関する仕訳●



前月繰越

直接材料費

直接労務費

製造間接費

仕掛品

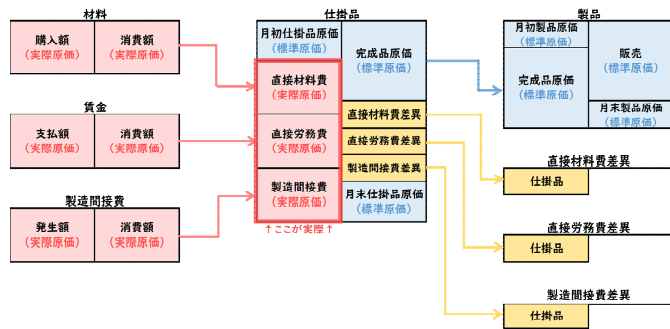
製 品

次月繰越

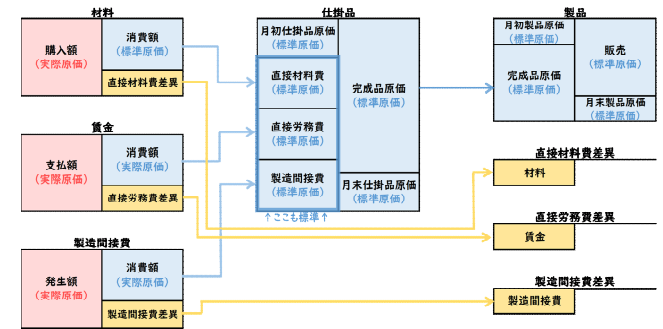
直接材料費差異

()

()



《まとめ》



- 標準原価計算の勘定記入には、仕掛品勘定の当月製造費用に実際原価を用いる（ ）と標準原価を用いる（ ）がある
- パーシャル・プランの場合、原価差異は（ ）勘定で把握される
- シングル・プランの場合、原価差異は各勘定（材料・労務費・製/間）で把握される



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡



第24回の内容お疲れさまでした♪